

ものづくりの仕事のしくみと
生産性向上

コース番号：048-008

2026年

開催日時：8月3日(月) 9:30~16:30 (6時間)
募集締切：7月21日(火)

開催場所：ポリテクセンター山梨 (裏図参照)

定員：16名程度 (先着順)

推奨者：初任層

受講料

3,300円 (税込)

コースの狙い

製造業の業務の流れと各部門の役割について学び、製造業全体の基本的なしくみを理解するとともに、製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任を理解し、業務改善の考え方を習得します。

主な訓練内容

◎ ものづくりの仕事の流れ

(1) 企業として努力していること

- ・企業活動の目的と企業間の競争
- ・顧客が製品を選択する際の基準 (QCD)
- ・日常業務と改善活動

(2) 製造業の組織と仕事の流れ

- ・製品のライフサイクル
- ・製品のライフサイクルを支える部門 (設計・製造・営業・・・)
- ・生産部門と責務 (生産計画・購買・製造・生産技術・・・)

【演習】自分の部門の役割について考えてみよう

◎ ものづくり現場の現状と課題

(1) ものづくり現場の課題

- ・安全/環境とQCD
- ・生産性と3M

【演習】聞いたことのある生産性に関する言葉をあげてみよう

- ・生産性を測る指標 (労働生産性・稼働率・歩留り)
- ・原価と生産性

(2) 生産性に影響を及ぼす要素

- ・ムダ・ムリ・ムラ
- ・5S

【演習】職場の整理・整頓状況を振り返ってみよう

- ・業務標準 (業務マニュアル) の意義

◎ ものづくりに関する業務改善

(1) 現場社員が習得すべき改善スキル

- ・小さい改善 (5Sやレイアウト変更等)
- ・問題解決 (不良低減・設備故障低減等)
- ・業務改善 (作業方法の見直し等)

(2) 職場の問題を見つける視点

- ・価値を生む作業と生まない作業

【動画演習】業務上の問題を見つけてみよう

(3) 業務改善の進め方

- ・業務改善の基本ステップ
- ・現状把握 (動画撮影とタイムスタディー)

【動画演習】モデル業務のタイムスタディーをやってみよう

- ・改善アイデアの抽出と改善案のまとめ

【動画演習】モデル業務の改善案をまとめてみよう

(4) 業務改善の定着化

- ・業務改善の取り組み姿勢 (楽しく・無理せず取り組む)
- ・業務改善を行う意義 (自分の価値を高める行為)

○ 訓練内容のココがポイント!

- ・新任社員向けに分かりやすく、ものづくり現場の社員に必要な知識をしっかりと学んでいただけるような内容です。
- ・動画を使った演習にて、現場の問題発見、業務改善のための分析と改善検討を楽しく学べるようにしています。

実施機関&講師

株式会社日本能率協会コンサルティング

パートナーコンサルタント

株式会社セフィーロ

代表取締役社長 峯村 隆久氏



講師Profile

三菱重工(株)での開発業務を経て、日本能率協会コンサルティングにて多業種の生産性向上を支援。現在は(株)セフィーロ代表として、中堅社員から経営層を対象に、業務改善や品質改善、IE分析の研修・指導を20年以上行っている。

お申し込みは

※ 当HP内「令和8年度オープンコース第1弾受講者募集のご案内」の下部に、Excel形式で直接必要事項が入力できる「オープンコース受講申込書」があります。